

ベネズエラ・ボリバル共和国



概要

1. 面積：916,445km² (日本のおよそ2,5倍)
2. 人口 (2008年総計)：28,583,000、98%が都会で生活
3. 独立：1811年7月5日スペインより独立し新共和国として誕生
4. 主な産業：石油精製、石油化学、鉄鋼、アルミニウム、セメント、建築資材、繊維、醸造、食品加工、自動車部品、通信。過去10年間、携帯電話部門での発展が重要になっていて、その普及率は100%を超えている。
5. 主な天然資源：

石油	石油輸出の多い国上位10位以内。2010年に確認された石油確認埋蔵量は3160億バレル以上あるとされ、世界第一位。
天然ガス	西半球ではアメリカに次ぎ世界第2位。日本企業との開発提携。
その他の 鉱物資源	鉄、ボーキサイト、金、ダイヤモンド、リン酸塩、銅、ニッケル、亜鉛、食塩、石こう、石灰石など

6. 自然、文化遺産

多種多様な環境は豊かな生態系の温床となっている。1,315種の鳥類（世界で知られている全種の15%に匹敵し、新熱帯区では現存する鳥の40%）と、25,000種の植物。51種の珍鳥と、地理的分布がとても限られている45種の鳥もいる。爬虫類は332種、両生類は113種、1,195種の魚類と328種の哺乳類が生息。ベネズエラはこれら自然資産の維持のため保護地域を設け、43の国立公園は国土面積の22%近くに及んでいる。

- ・ 世界最大のエンジェル滝（ボリバル州、高さ979メートル）
- ・ 南米最大のマラカイボ湖（スリア州、13,280平方キロメートル）
- ・ 世界一の長さと高さを誇るアンデス山脈のメリダケーブルカー（メリダ州）
- ・ 広大なグアヤナ高原（425,000km²）地質学的に世界最古の土地。
- ・ 南米で長さ第3位のオリノコ川（ボリバル州北部）
- ・ カリブ海で最も長い海岸線のひとつ（2,800キロ）
- ・ 311の島とカリブ海に浮かぶさまざまな大きさの要所
- ・ スペインとオランダ建築が融合し独特の伝統を築いたコロの街とその港ラヴェラ（1993年にユネスコ世界遺産登録）
- ・ 世界で5本の指に入る広さのカナイマ国立公園（ボリバル州、1994年にユネ

スコ世界遺産登録)

- ・ 現代都市開発の傑作、カラカス大学 (2000年にユネスコ世界遺産登録)

7. 教育

識字率は人口の95%以上 (2010年ユネスコ報告書)。国民の幼児学校教育の利用は1999年の45%から2007年の62%に上昇し、初等教育を終了した児童は、1999年の88%から2006年の97%に上昇。1999～2007年の間に非就学児童数の「大幅な減少」を達成。

8. 社会政策

ウーゴ・チャベス大統領政府は、この10年、教育、衛生、住宅供給、食料安全保障、および職業訓練など、長年の懸案だったニーズに取り組む革新的な社会プログラムを始動。1998年、社会プログラムへの支出がGDPの11.3%だったのに対して、2006年には21.9%、2008年には19.5%に安定した。社会問題への政府による1999～2009年の投資蓄積額は、先の10年間になされた投資の5倍にあたる3,300億ドルに達し、1999～2009年の全国庫収入の60%超に等しい。

9. エル・システマ

1975年、ホセ・アントニオ・アブレウ博士の呼びかけにより集まった11人の子どもたちのオーケストラから始まった。子どもたちに無償で音楽教育を受けさせ、音楽の基礎知識だけでなく、共同体で演奏することを通して調和の大切さを教えた。これは多くの貧困層の子どもたちを非行や暴力的な思想から守り、尊厳ある社会の一員として育てるための政策で、現在はベネズエラ政府と寄付金によって40万人の子どもがエル・システマで学び、優れたオーケストラとグスターボ・ドゥダメルのような天才的な音楽家を多数輩出している。この活動は世界中の注目を集め、現在25カ国以上で試験的にエル・システマのプロジェクトが導入されている。

.....

ベネズエラ文化週間は毎年秋に開催されています。ぜひいらして下さい。

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館

<http://www.venezuela.or.jp/>

日本ベネズエラ協会

<http://www.nihon-venezuela.jp/>

ご清聴ありがとうございました。